

就活生の性格特性分析は 入社後の企業定着率向上の要因となり得るか

氏 名 松井俊輔

指導教員 松田 憲

要旨

本研究は、社会人の性格特性を分析することで、企業定着率の高い人材（入社後3年以上経過している労働者）の特徴を明らかにした。また、現代の就活生の性格特性が企業選択に及ぼす影響を分析も行い、就活生に性格特性分析を実施し、協調性と生活安定に対するこだわりの度合いを判断することであることが入社後の企業定着率向上に繋がる可能性を示した。これは、早期離職に伴う人手不足を課題とする企業や団体にとって、新卒の大学生と大学院生を採用する際に、企業定着率の高い人材を獲得することに寄与するものである。また、採用コストや採用に掛けた労力が無駄を防止し、安定的な事業運営や計画的な事業拡大に繋がり、企業の生産性向上と企業価値の向上が期待される。